

**令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和 6 年 12 月
海老名市立柏ヶ谷小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

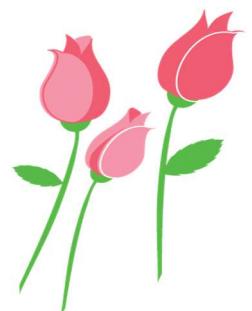
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるか」という問題では、県・全国の正答率を上回りました。国語科だけでなく、社会科・理科・総合的な学習の時間の活動を通して、情報の内容を読み取り、共通点などを見つける力が身についてきたと考えられます。
- 「話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるか」という問題では、県・全国の正答率を上回りました。国語科を中心とした学校生活の全ての伝え合う活動を通して、相手に伝えるための上手な話し方が身についてきたと考えられます。

◆課題のある点

- 「目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるか」という問題では、県・全国の正答率を下回りました。また、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるか」という問題でも、県・全国の正答率を下回りました。このことから、「目的や意図に応じて」情報を整理したり、「目的や意図に応じて」自分の考えを文章で表現したりすることに課題があると考えられます。
- 「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるか」という問題では、県の正答率を下回るとともに、無回答率が県・全国の無回答率を上回りました。加えて、「人物像を具体的に想像することができるか」という問題でも、無回答率は県・全国の無回答率を上回りました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「目的や意図に応じて」情報を整理したり、文章で表現したりする力をつけるために、目的や意図を明確にした授業づくりを心がけます。また、自分が書いた文章や成果物が、目的や意図に即しているかをふり返る活動を適宜取り入れるようにします。
- 物語文における児童の読解力をつけるために、音読活動を効果的に取り入れたり、叙述と自分の生活体験を結び付けて登場人物の相互関係や心情を考えさせたりする授業づくりを心がけます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているか」や「角柱の底面や側面に着目し五角柱の面の数とその理由について記述できるか」という問題では、県や全国の正答率を大きく上回っていました。円柱や角柱の展開図や円周の求め方を正確に理解している児童が多いです。
- 「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考慮し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるか」という問題では、県・全国の正答率を大きく上回りました。示された図や式を基に問題を正確に理解し、式や言葉を使って説明できる児童が多いです。

◆課題のある点

- 「除数が小数である場合の除法」の計算では、県・全国の正答率を下回りました。除数が小数のわり算の計算を苦手とする児童が多いです。
- 「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるか」という問題では、県・全国の正答率を下回りました。問題文を読み取って問題場面の状況や問われていることを整理し、答えることを苦手とする児童が多いです。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「除数が小数である場合の除法」の計算を正確にする力をつけるために、授業中に計算問題に取り組む時間を確保します。また、小数の除法だけでなく、整数・分数も含んだ四則計算が確実にできる力を身につけるために、朝のモジュール学習を効果的に活用して計算問題に取り組みます。
- 問題文を的確に読み取る力をつけるために、問題文から読み取ったことを、図やイラスト、表、数直線などに書き表したり、教師の発問で必要な情報を整理したりする時間を授業に取り入れます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「国語の授業は、将来、社会に出たときに役に立つ」と考えている児童が 98%以上であるとともに、「与えられた情報を違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら整理している」児童が 85%を超えています。
- 「算数の勉強は大切だと思いますか」の設問では、肯定的な回答が全国平均・県平均を上回っています。算数の必要性を理解して、学習に臨むことができている児童が多いです。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の設問では、肯定的な回答が全国平均・県平均を下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「朝食を毎日、食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童が多く見られました。規則正しい生活習慣が定着していることがわかります。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」の設問では、「よいところがあると思っている」児童が、90%を超えています。自己肯定感が高いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」の設問では、否定的な回答が全国平均・県平均を上回っています。

今後の具体的な取組について

- 校内研究で取り組んでいる国語科を中心に、互いの考えを伝え合い広げる活動を取り入れ、自分と異なる意見について考える楽しさを味わわせる授業づくりに努めます。
- 今年度から重点的に取り組んでいる異学年交流たてわり活動を通して、人とのかかわりの大切さや人のために行動することのよさを味わわせられるように努めます。

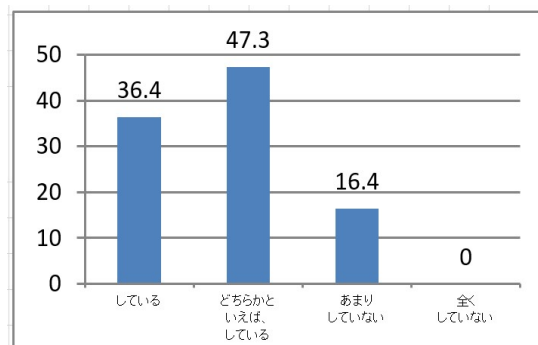
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1

引き続き、規則正しい生活習慣を心がけましょう。

「起床」「食事」「就寝」をほぼ毎日同じリズムで生活することは、日々の健やかさを保つことにつながります。引き続き、規則正しい生活リズムを意識して生活しましょう。

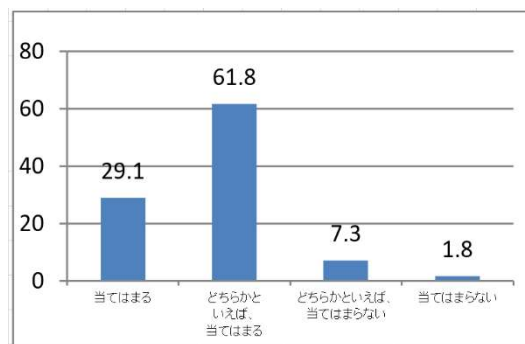


毎日、同じくらいの時刻に寝ています

2

ありのままの自分を好意的に受け容れましょう。

自己肯定感が高い状態は幸福感を得られやすいと言われています。規則正しい生活習慣を心がけるとともに、ありのままの自分を好意的に受け容れることで、心身ともに充実した生活を送りましょう。

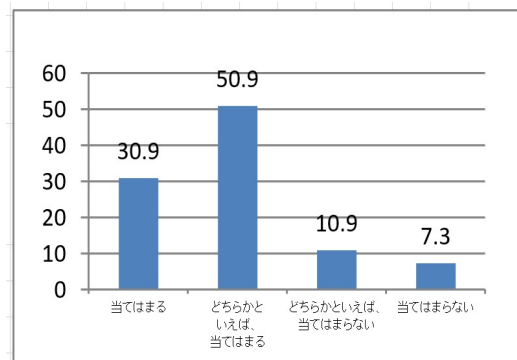


自分には、よいところがあると思いますか

3

地域の行事に参加してみたいかがでしょう。

「地域や社会をよくするために、何かしてみたい」と考える児童が年々増加しています。地域のお祭りや行事に参加して、地域や社会のためにできることを考える契機としましょう。

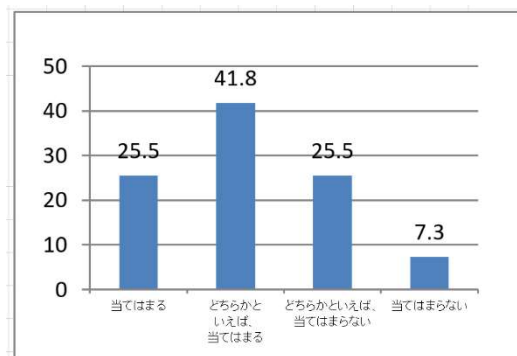


地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

4

自分と異なる考え方や生き方との出会いを大切にしましょう。

自分と違う意見や生き方との出会いは、自分自身の考えや生き方を見つめ直したり、広げたりするチャンスです。さまざまな「違い」を、肯定的に受け止められるように心がけましょう。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
 海老名市教育委員会教育支援課 指導係
 電話 046-235-4919